



うどんこ病の発病防止を実証するために、イチゴ本圃の一部に設置された「タフナレイ」

## 農業生産法人 株式会社GRA

AGRICULTURAL PRODUCTION CORPORATION GRA INC.

### 「タフナレイ」による、うどんこ病予防でイチゴ農園を復興支援

復興庁と農林水産省は、被災地での早期生産開始を支援し、最先端の園芸施設が集積する新しい食料生産モデル基地として発展するために「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」を実施。その一つとして宮城県山元町に建設されたのが大規模施設園芸実証研究施設で、イチゴとトマトの先進的大規模生産技術の体系化と実証が行われている。

ここでは、コンソーシアムの一員である株式会社GRAが、栽培管理や生産物管理などを担当し、合理化による高収益経営をめざしている。

農水省は総合的病害虫管理(IPM)を推進している。これは化学農薬を主とした防除体系ではなく、多様な手段を総合的に用いて病害虫の発生を抑えるとともに、人や環境への負荷を最小限にとどめる病害対策。この施設ではIPMの一環として、うどんこ病を予防するために病害防除システム「タフナレイ」を導入。イチゴ育苗室に15台、イチゴ本圃に9台設置し、夜間に3時間照射することで、うどんこ病の発病株数平均がタフナレイ照射区1%、無照射区30%と、うどんこ病を防除するデータが得られた。これにより、イチゴ農家の悩みであった、うどんこ病による出荷減が大幅に削減できる可能性が実証された。



### 農業生産法人 株式会社GRA

#### ■タフナレイ実証実験

施設名称 / 先端プロ山元施設  
所在地 / 宮城県亶理郡山元町山寺  
施設主 / 独立行政法人 農研機構野菜茶業研究所  
実験設備施主 / 農業生産法人 株式会社GRA



「タフナレイ」が発する特殊な波長の光がイチゴの免疫力を高める



農水省の農業新技術に選定された「タフナレイ」



スケジュール制御盤

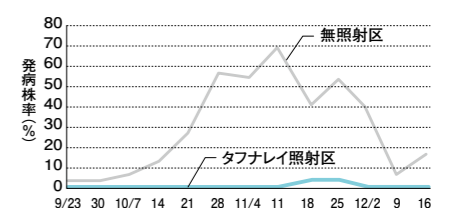
#### 主な設備

- 病害防除システム  
タフナレイ



大規模ハウス群で構成された研究施設

#### タフナレイのうどんこ病予防効果



菅野 巨氏 すげのわたる  
農業生産法人 株式会社GRA  
IPM担当 研究員

#### 病害に悩むイチゴ農家に吉報

山元町では、町内に129軒あったイチゴ農家のほとんどが津波に流されました。GRAグループは、マーケティングとブランディングに力を入れ、農業技術の研究・革新を通して収益環境を整えようとしています。今回は「タフナレイ」の導入で、予想以上の実証結果が得られました。うどんこ病は薬剤抵抗性の発達が著しく、薬剤投与だけでは防除が難しくなっています。うどんこ病に悩む農家には新たな解決策となるでしょう。